

# このえ



新春に夢を乗せて初すべりを楽しむ

### 12月定例会

- 補正予算など P.2
- 請願・陳情他 P.3
- 特別委員会報告 P.4~5
- 20年度決算審査報告 P.6~7
- 一般質問 P.8~P.12
- わたしのひとこと  
飯田奥郷 時松 孝さん P.13  
野上中央三 佐藤勇一郎さん  
飯田小学校6年 高橋 千夏さん P.14
- こんな町にしてほしい

平成21年

# 第4回定例会

一般会計は歳入歳出にそれぞれ4億1,143万2千円を追加して、総額で70億7,463万6千円となりました。

## 補正予算の主なもの

- 基金積立  
2億5千万円
- 宝泉寺栗原線外改良工事費  
3,300万円
- 四季彩道路外改良工事費  
4,900万円
- 林道鹿伏岳線道路改良工事費  
3,000万円
- 減債基金  
5千万円
- 町有施設整備基金  
1億円

本定例会は、12月4日から18日までの15日間開催されました。議案8件、請願1件、陳情3件は慎重に審査しました。

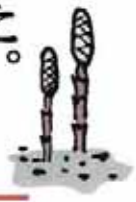
## 議会の動き

- 《10月》
- 1日 日田玖珠広域消防組合 議会第3回(臨時会)
  - 2日 正副議長・委員長研修 全員協議会
  - 5日 町PTA連合会との意見交換会(役場3階)
  - 11日 第41回町民体育大会
  - 17日 九重ふるさと祭り
  - 24日 大分県畜産共進会 「肉用牛」別府公園 肉用牛展示会
  - 25日 第30回関東くす・このえ会 & 研修会
  - 28日 決算審査特別委員会①
  - 29日 決算審査特別委員会②
  - 30日 議会運営委員会 平成21年第5回臨時会 全員協議会
- 《11月》
- 1日 大分県畜産共進会(乳用牛)みどりの王国
  - 4日 正副議長・委員長会議 議員研修会(日出町)
  - 5日 決算審査特別委員会③
  - 6日 決算審査特別委員会④
  - 9日 第53回町村議会議長全国大会(NHKホール)
  - 11日 後期高齢者医療広域連合議会(議連)全員協議会
  - 16日 日田玖珠議員研修会
  - 21日 九州連合ホルスタイン共進会(熊本県大津市)



# みなさん方の請願や

## 陳情はこうなりました。



### 請願

●請願受付番号第2号  
 玖珠地区平和運動セン  
 ター議長 長尾孝宏氏  
 からの「非核三原則の  
 早期法制化を求める意  
 見書の提出に関する請  
 願」は、

核兵器廃絶をめざす  
 潮流を世界規模に発展  
 させるためにも、世界  
 で唯一の被爆国として  
 の日本は主導的役割を  
 果たすときで「非核三  
 原則」の早期法制化を  
 促す請願の趣旨は理解  
 できるとして採択とし、  
 国に対して意見書を提  
 出することで意見の一  
 致を見ました。



### 陳情

●陳情受付番号第7号  
 奥双石区長 内野安三  
 氏からの「町道編入を  
 求める」陳情は、

道中法面が崩壊して  
 おり、今後も崩壊が考  
 えられる。現状では農  
 道でも林道でもないた  
 め救済復旧も考えられ  
 ず苦慮している実態を  
 見るとき、奥双石に限  
 らず町内全域でこのよ  
 うな災害が発生したと  
 き、何らかの手立てが  
 望まれるため、関係課  
 で協議をして対策を求  
 めたい。今回は地元住  
 民の手による片づけを  
 したようであるが、高  
 齢化の進む集落では厳  
 しいことはよく理解で  
 きるので、総合的に鑑  
 みると問題点も多いが、  
 町道認定することで住

民の不安解消をはかる  
 ため採択することで意  
 見の一致を見ました。

●陳情受付番号第8号  
 「肺炎球菌ワクチンへ  
 の公費助成に関する」  
 陳情は、

このワクチンは法律  
 では任意予防接種とな  
 っており、国の公費助  
 成はされていません。  
 国が積極的に取り組  
 むを行うか、国が定期予  
 防接種としてその必要  
 性を決定してからでも  
 良いのでは。現在は新  
 型インフルエンザの予



町道奥双石線との分岐となる後山道路(通称)

防接種の公費助成を行  
 っていることから、今  
 回はこの陳情について  
 は、不採択とすることに  
 意見の一致を見まし  
 た。

### 国に対して 意見書を提出

●非核三原則の早期法  
 制化を求める意見書  
 被爆国日本として世  
 界各国からかけられて  
 いる期待の大きさを踏  
 まえて、「非核三原則」  
 の法制化を早期に決断  
 されることを要望する  
 ため。

### 可決された議案

九重町過疎地域自立  
 促進計画の一部変更は、

林道鹿伏岳線道路舗  
 装工事を追加するもの。

火入れに関する条例  
 の一部改正は、

異常乾燥注意報が出  
 ている最中は火入れを  
 中止しなくてはならな  
 い規定があったが、春  
 先は乾燥注意報が多く  
 出され、乾燥しなけれ  
 ば焼けないという実態  
 に合わせ、中止にかか  
 る規定中「乾燥注意報」  
 を削除するとともに全  
 体的に実状に見合うよ  
 う改正するもの。

九重町介護保険条例  
 と九重町後期高齢者医  
 療に関する条例の一部  
 改正は、

社会保険料等の納付  
 が困難となつている事  
 業主等の負担の軽減を  
 図るため納付期限から  
 一定の間、延滞金の割  
 合を軽減するもの。



26日	後期高齢者医療広域連 合議会第2回(定例会)
27日	議会運営委員会
30日	日田玖珠広域消防組合 議会第4回(臨時会)
〃	議会運営委員会
〃	平成21年第6回臨時会
〃	玖珠九重行政事務組合 議会第2回(臨時会)
4日	第4回定例会(開会) 全員協議会
〃	議会広報特別委員会
7日	教育民生観光(常) 第10回いのち・愛・人 権フェスティバル
8日	総務建設産業(常)
10日	11日 第10回日中陝 西協力会年会(筋湯)
11日	県議会議長との意 見交換会(大分県庁)
14日	⑧小中学校再編問題(特) ⑨高校再編問題(特) ⑩大吊橋周辺対策(特)
〃	正副議長・委員長会
16日	一般質問(夜間議会)
18日	第4回定例会(閉会) 全員協議会
〃	議会広報特別委員会
21日	議会広報特別委員会
25日	日田玖珠広域消防組合 議会(議運「定例会」)

※(常)常任委員会  
 ※(特)特別委員会

# 小中学校再編問題対策特別委員会報告

## ＜陳情の審査結果＞

九重町保護者の会 代表 小笠原 勝美氏からの「新設中学校建設に関する陳情」について

陳情の要旨（要約）は次のとおりです。

- ①校舎、グラウンド、体育館、プール等、学校生活に必要な施設が、学校独自に建設できる場所を学校建設用地と決める。
- ②学校として独立した場（エリア）を保証する。
- ③各地区からの通学の利便性を考える。
- ④中学校新設に関しては、校舎建築だけでなく、学校づくりについても、地域・保護者の声を聞くことができる組織づくりを早急に行う。
- ⑤中学校新設に関する情報は、町民に速やかに公開する。

①②については、特別委員会が、これまで、統合中学校の建設候補地及び学校に必要な施設整備について、調査、研究し、議論を重ねて出した方向性と相容れない内容なので、不採択としました。

③については、保護者の願いとして当然のことであり、④⑤については、「町民の声を町政に反映させるための仕組みづくり」と、「行政情報の迅速な公開」を求めるもので、これらは、住民と行政との協働でまちづくりするための基本的な要件であることから、願意は当然のこととして、採択としました。

以上のことから、本陳情は一部採択とすることで、意見の一致をみました。

## ＜小中学校再編問題に関する審査の終了＞

平成20年6月17日に、議員全員による小中学校再編問題対策特別委員会を設置し、付託された「小中学校再編問題に関する審査」を行ってきました。審査の経過と審査結果を報告します。

特別委員会では、本町の学校再編の望ましいあり方について、議会としての方向性を出すために、3つの先進地での視察研修、町内中学校の現状と課題把握のための4中学校訪問、4地区での住民との意見交換会の実施等を含めて、調査、研究し、議論を重ねました。平成21年第1回定例会中の第13回特別委員会（3月12日）において、陳情案件の審査を含めた議論の中で、議会として「中学校は、飯田中学校を除く3校を統合する。小学校は、現状のまま6校を残す。小中一貫教育（併設型と連携型）及び小学校の連携教育は、内容を精査し、本町に適する部分を今回の再編に組み入れる」という方向付けをしました。

町は、平成21年5月28日に、「学校再編整備計画」の成案を示しました。成案での統合中学校建設候補地は、素案の内容と同じで、「既存施設の有効活用と財政運営において最小の経費で建設できる役場活いきランド周辺」としています。

特別委員会としても、建設候補地の現地調査をすることが必要であるとして、7月6日に、活いきランド周辺及び周辺外の数カ所について現地調査を行いました。以後3回にわたる会議（7月6日、7月28日、9月11日）で、教育環境面、財政面、通学面等から考えて、どの場所が建設用地に適しているか、また、学校に必要な施設整備の望ましいあり方等について議論しました。10月5日には、九重町PTA連合会との意見交換会を実施しました。特に、「建設用地等の決定に際しては、PTA連合会の意見が述べられる場を設けてほしい」という要望が出されました。執行部に、そのことを含めて意見交換会で出された意見を伝えました。

以上の経過を経て、議会としては、統合中学校の建設候補地を活いきランド周辺以外にすることは、用地確保や財政面から考えて困難であると判断し、活いきランド周辺を建設候補地とする方向性を出しました。

また、校舎は町産材を中心とした木造建築で、学校行事や集会等ができる講堂を併設し、グラウンド、体育館は、既存の施設であっても、原則学校専用とすることとしました。

今後については、建設推進協議会の設置に伴い、議員代表が協議会に所属し、建設に関する議会の意見を反映させていくこととなります。

以上のことを踏まえ、小中学校再編問題対策特別委員会は、当初の目的が達成されたので、審査を終了することにしました。



九重町PTA連合会との統合中学校に関する話し合い

平成20年度

# 決算を認定

## 決算審査結果の報告

審査は予算が適正に執行されたか、投資効果や行政効果などを慎重に審査した。

### ★改善又は検討を求めるもの★

で前年度実績を考慮して計上すれば補正も、不用額も減少すると考えられるので検討を望みたい。

詳細については、口頭で担当課に指摘したので、事業の徹底した精査により投資効果や行政効果が最大限上がるよう要望し、審査結果の報告とする。

# 貯金は44万円 たり 53万円

平成20年度、一般会計の決算は、歳入総額81億8,679万7千円で前年度対比で12.16%増、歳出総額は77億328万7千円で10.98%増と大きくなっているが、地域情報通信基盤整備事業（12億8,812万1千円）などの実施によるのもです。



（町村は3%～5%が望ましいときとされている・20%を越えると財政再建が必要）

歳入については、町税、分担金及び負担金、使用料及び手数料、諸収入の税目で収入未済額が前年度より増加し、1億円を超える金額となっている。滞納処理は、各課でそれぞれ徴収をしていたが、課を超えた滞納情報の共有化を図り、各課が連携して収納対策を強化し、収納率の向上を求めているが、今回の各課聴取では、税徴収に関わる体制の強化（課の増員や総合徴収対策会議的なもの（設置等）で収納率の向上に努めており、今後はその成果に期待したい。

入湯税については吊橋効果で18年度100万円、19年度406万円の増収となっていたが、20年度は547万円の減少となっている。吊橋の入場者の減少も考えられるがそのれにしても、入湯税収入はかなり少ないと推測できるので観光客数に見合った入湯税収入になるよう期待したい。

水道特別会計では収入未済の中で徴収不能な内容が見受けられ不納欠損処理ができるものは実行されることを望みたい。歳出については、不用額が前年対比で増加している。増えた理由として①予算の目的は充分達成しながら節約工夫によって生じたもの。②予算議決の時点では予想されなかった情勢の変化による事業規模の縮小や中止によるもの。③予算そのものの過大見積もりによるもの。④特別の理由もないのに執行の時期を失ったもの等が考えられるが、予算積み上げでの段階



菅原ライスセンターでの現地確認

# 町民 1人あたりの 借金は 1人あ

## 基金

### 貯金はこれだけ

(単位:千円)

基金名	19年度末残高	20年度末残高
財政調整基金	518,368	639,185
減債基金	1,457,309	1,509,714
町有施設整備基金	1,465,037	1,388,082
ふるさと創生事業基金	580,050	558,102
福祉基金	207,456	207,456
地域振興基金	28,287	28,337
環境整備基金	50,746	50,839
ふるさと農村活性化基金	10,691	10,710
スクールバス事業基金	56,867	56,914
足立敬老基金	10,000	10,000
飯田小学校図書整備基金	9,600	9,400
飯田中学校図書整備基金	9,600	9,400
土地開発基金	139,129	139,384
特別導入事業基金	43,205	42,015
用品調達基金	10,000	10,000
災害住宅資金貸付基金	3,000	3,000
小計	4,599,345	4,672,538
飯田高原診療所施設整備基金	11,237	9,157
国民健康保険基金	55,543	55,644
高額療養費貸付基金	5,000	5,000
水道基金	160,909	169,204
介護保険基金	11,032	11,047
介護従事者処遇改善特別交付金		8,725
小計	243,721	258,777
合計	4,843,066	4,931,315

## 地方債

### 借金はこれだけ

(単位:千円)

資金区分	借入先	19年度末残高	20年度末残高
政府資金	財務省 財政融資資金	3,105,878	4,029,312
	郵政公社資金	1,254,220	1,103,482
その他	市中銀行	659,993	417,372
	その他	344,058	330,819
合計		5,364,149	5,880,985

### 収入未済総額 (滞納)

1億1,374万1千円

(単位:千円)

税目	19年度末	20年度末	増減
町税	80,294	89,472	増 9,178
分担金及び負担金	4,080	4,810	増 730
使用料及び手数料	9,705	10,978	増 1,273
財産収入	5,023	4,152	増 871
諸収入	4,141	4,329	増 188
計	103,243	113,741	増 10,498



20年度予算での主な事業 地域情報システム

## 年頭のあいさつ

議長 大石 光 則



新年明けましておめでとうございます。輝かしい新春を町民の皆様と迎えることができ、大変うれしく思います。政権が変わって四月。新しい年を迎え、いよいよ中央から地域主権の分権型社会へ、行政改革と財政危機のうねりの中で始まっています。変革のうねりは、これまでの行政システムの根本的な見直しを迫られているといえます。

このような中で、九重町では昨年、ブロードバンド・ケーブルテレビの開局、大吊橋の500万人突破、中学校再編、陝西省との国際交流等がありました。議会といたしましても、議員が一体となり行政と議論をしながら努力して結果を出してきま

した。特に中学校再編に於いては、町民の皆様、又、PTAの皆様と意見交換を行いました。御協力に感謝申し上げます。

本年は、中学校建設や日本一の田舎づくり、さらに町政の抱える諸問題に取り組んでいきたいと思えます。

議会議員の任期も残すところ一年余りとなりました。住民の代表である我々議員は、原点に戻り、議会の改革や情報の公開をして透明性を示し、開かれた議会へと取り組み、町民と共に歩み高潔性を持ち、町民に信頼される議会を目指します。

最後になりますが、活力ある九重町を町民の皆様と共に構築できるよう議会としても誠心誠意努力してまいります。今後とも御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

## 一般質問

# ここが聞きたい!

# ズバリ 町政 を問う

### 職員給料、「わたり」があるのでは

### 平均年齢が高いため

河野 範 成



**河野** 職員給料表の「わたり」はないとしているが、九重町は6級職以上の構成率が高い(45%)。6級職は課長級となっているが課長は全員が7級職である。今年度の職員配置を見ると部署によっては6級以上の職員が6割から8割も配置されているが、職務上課長相当職が一つの職場で8割いるなどありえない。つまり役職に関係なく、勤務年数のみで昇格しているから、このような状態となる。このことが「わたり」ではないのか、自律推進計画や集中改革プランに照らしても問題。町民感情としては課長職相当の職員が50人もいて給与が勤務年数だけで支払われている現状は理解できない。このことは議決案件ではないが、内部協議をして改善せよ。

**町長** 九重町では課長等管理職及び主幹職の一部が6級で構成率が高いのは平均年齢が高いためこのような状態になっている。高齢者の退職により

改善されると考えているが、職員組合とも協議して改善していきたい。

### 釘野千軒遺跡の今後は

### 発掘調査も検討

**河野** 釘野千軒遺跡について、野球場の東側、通称釘野千軒遺跡は放置されている。将来的にはなにか活用はできないか。

**町長** 当地は中世の山城が存在しているとされているので、発掘調査が必要。第4次の総合計画で議論を深めていきたい。



釘野千軒遺跡の碑



## 地元高校への進路対策は

深刻な状況で 努力したい



小川 克己

### 玖珠郡内 中学3年生生徒数 推移

	九重町	玖珠町	合計	6割
22年	118	184	302	181
23年	110	195	305	183
24年	98	183	281	168
25年	69	181	250	150
26年	89	153	242	145
27年	69	148	217	130
28年	79	148	227	136
29年	66	148	214	128
30年	66	143	209	125

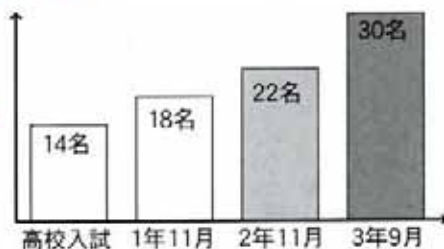
**教育長** 中学生徒数の推移を見ると大変厳しい状況であり深刻な問題として受けとめ、今後ともさまざまな取り組みをしなければと思っている。引き続き校長会等で働きかけをしたい。

**小川** 最近までの進路状況を見るかぎり、地元高校には6割しか進学していない。今後と同様の状況が続けば、再編後の高校存続は厳しい。行政として積極的に郡内に1校を残すという強い姿勢で望むべきだ。現状は地元高校の良さやすばらしさが郡民の多くの皆さんに理解されていない部分もある。

### ※全県順位上位者の大幅な増加…学力向上県下トップ

森高校  
平成21年3月卒業生の成績推移（進研模試の3教科の順位から）

全県2000番以内の人数の推移



るのではないかと。森高校の場合、学力向上面などにおいて、県下トップの伸びを示し進路実績も充実している。行政が主導となり中学校や地域やPTAと連携した取り組みで、せめて8割以上の子どもが地元高校へ進学するようなシステムづくりや対策を構築するべきだ。

## 農業の現場の声を聞いた支援を

厳しい状況で 努力したい



坂本 憲治

**坂本** かつてない程の厳しい農家、農業情勢の中で、町として、国や県の補助金とは違う小規模な支援や個々の農家の希望する、補助金体制を単年

**町長** 厳しい状況は十分に理解している。必要な



飼料は高騰、子牛価額は下落で厳しい経営を強いられる農家

### 温暖化対策には LED電球の活用を

出来る事は推進したい

**坂本** 温暖化対策は、我々の責務である。LED電球の活用により、電気代は10、CO2削減などの支援を行ってはどうか。

**町長** 地球温暖化は大変重要な問題である。LED電球の導入はコストが高いが今後検討していく。

度でも良いから、今こそ支援を行ってはどうか、このまま放置すると農業の廃業者が出る可能性が高いと考えられる。

ら基金を使ってでも支援して行くつもりである。



## 日本一の田舎づくりを 地域づくりにどう活かす

### 町づくり推進本部の立ちあげで

**日野** 九重町でも、少子高齢化が急速に進み、地域社会が崩壊するのではと、懸念している。

町長は、「日本一の田舎づくり」を提唱してきたが、九重町の地域づくりに、どう活かしていくのか。また、職員の意識を高め、全課あげて取り組む必要があるのでは。

**町長** 地域づくりと田舎づくりは一体的なものと考えている。自律推進計画の中で、「自助、共助、公助」を推進し、協働のまちづくりを基本として進めている。町職員は、各課横断的に地区担当制を敷き、地区協議会を立ち上げ、地域活動に重点を置いている。また、「田舎づくり」のプランを作成する為、推進本部を設置し、検討を重ねている。

#### 区長の活躍も

**日野** 区長は、行政区の代表であり、リーダーとして地域で頑張っているが、全体的に停滞している。

補佐的役割を担える「副区長」の創設や、職員が事務的に補佐し、区長が地域で活躍できる体制を組むべきでは。

**町長** 区長については、行政区で2年交代の所が多く、なり手がいないのが現実であり、今後の課題と捉えている。副区長の設置は、任意であれば問題ないが、正式な場合は、設置条例が必要になる。

また、いろいろな職務の問題もあるので難しいが、区長理事会の意見も参考にしながら検討したい。



町長の説明に聞き入る区長



## 新規仕掛けで大吊橋の滞在化とリピーター強化を

### 新たな取り組みを考えている

**藤原** 三年を過ぎた大吊橋も客が減少し、滞在化と周辺観光地への相乗効果が見えていない。

新たな仕掛けによる取り組みが必要ではないか。橋から水を噴射し昼は虹、夜はライトアップしナイト営業すれば町内の宿泊客の増加に繋がると思われる。夜間の侵入による事故防止策に、警備犬を導入してはどうか、両サイドに大型犬をワイヤーで移動させれば侵入防止に大きく役立つと思われる。イメージを守るためにも事故防止に力を注がないか。

**町長** 現在527万人の客が吊橋を訪れており、本年度から観光案内所を設置し町内の観光情報等を提供し観光客の滞在化を推進したい。新規事業としては「九重・夢・ウインターキャンペーン」を企画し町内の観光地の周遊と宿泊に繋げる取り組みを実施している。ライトアップについては、国定公園なので難しい。警備の問題は努力してい

ると思っている。

#### 学力・態度の実態は

##### 重要課題と認識

**藤原** 全国学力テストの結果は、未だに公表されておらず、町内の生徒の学力も授業態度も一部問題があると聞く。学力1位、体力2位の秋田へ町は研修に行ったが、今後どの様に生かし取り組むのか。

玖珠町や豊後高田市等民間ボランティア等の力を借りて学力向上に向けての指導を行っている。学力のつまづきをなくし、学力向上とゆとり教育の歪みで生じた格差解消のためにも、民間の力を借りて、寺小屋式教育指導は取り組めないか。

**教育長** 学力問題と学習態度は重要課題と認識している。学校、家庭、教委の三者連携で解決に向けて取り組みたい。今年からOBに委託し授業の指導、助言、相談等を行っている。

# 農業基本条例の制定について

## 農業振興計画を含め検討



梅木 征治

**梅木** 農業が基幹産業である我町で、農業振興の基本である営農基本条例が設定されていない。又基幹作物の年次別振興計画も示されていないが、農業振興をどのように進めるのか。

**町長** 営農基本条例の制定については、農業の振興計画の策定も含め今後の検討課題としたい。

### 企業の農業への進出は法人税と固定資産税

**梅木** 町として、どのように取り組みをするのか。又税制上の措置は出来な

**町長** 企業に課せられる主な町税は、法人町民税と法人が所有する資産に対する固定資産税で特別な措置にはならない。

**梅木** ネギや大根等の野菜を町外者が作付しているが、町内の農業者に優先的に斡旋をしては、

**町長** 現状を把握しながら農業委員会で利用権の設定を許可しており、農家の耕作を圧迫しないよう配慮しながら利用集積を推進したい。

**梅木** 日本一の田舎づくりについて、一集落一参加の掘り起こしについて、集落の再発見と表彰等を進めては、

**町長** 地域の宝や集落の再発見は必要不可欠で、地域づくり協議会や地区公民館と連携して行政として支援できることから進めたい。



大規模化するネギ畑

# 行政情報の積極的な公開を

## 必要に応じて情報公開していきたい



井上 里子

**井上** 住民と行政との協働でまちづくりをするためには、行政情報の積極的な公開が必要である。

町の諸行事やお知らせ、各地域の催し物や住民の活躍状況等は、かなり情報提供されているが、行政運営に関する情報公開は不十分なので、充実させるべきである。例えば

①予算・決算・事業等に関する情報提供の充実、特に事業の主なものについては、その内容と事業費の財源を知らせる。②行政改革実施計画と自律推進計画の進捗状況は、町民に公表することにな

っている。実施項目のいくつかを選んで、進捗状況を公表する。例えば、事務・事業の見直し状況や統合中学校建設に関する情報等。③次世代育成支援行動計画及び男女共同参画プランについても、年度ごの実施状況を知らせる。以上、例にあげたように、行政情報を積極的に公開することについて、町長、教育

**町長** 予算・決算等は、広報を通じてできるだけ公表しているが、紙面の都合で大まかなことしか出せない。自律推進計画、その他の計画についても、必要に応じてネット等を通じて、ぜひ情報公開していきたい。

**教育長** 基本的には町長と同じであるが、行政が持っている情報を可能なかぎり公開することは大事だと思う。限られた予算であるが、住民に情報を届けるよう頑張っていくべきだと思う。

**井上** 行政情報公開の効果的な方法として、ケーブルテレビの文字放送を活用できないか。

**企画調整課長** 文字放送は、防災無線や広報で知らせた内容を改めて知らせることを基本にしている。事業内容や諸計画の実施状況等に関することを流すことは、なじまないのではないかと

## 新規就農者への小面積での農地利用権設定を

### できるだけ早急に対応



佐藤 博 美

**佐藤** 九重町では5年後に90地区の集落が限界集落になると聞か、今後農のある暮らしを求めて田舎に住みたい人の受入体制を作るべきである。現在は非農家が農地を借りるのも買入するのも50a以上でなければできない。大規模に集積できる所を除いて、中山間地の農地の買入や利用権設定が小面積でもできるように、又農業を初めてする人達に対して米や野菜づくりを指導するボランティア等をつのり、九重町独自の新規就農システムを早急につくり、発信すべきではないか。



**町長** 農地の利用権設定は本年度から下限面積が10aとなったが今後、企画、農林課で話し合い、できるだけ早急に受入れ体制を考えていきたい。

## 鳴子物産との 年度協定による 納入金は

協議に応じてもらえず  
納入金は入ってない

**佐藤** 平成20年度の年度協定で大吊橋物産館の納入金は売り上げ額の3%を基本とし、利益が多かった場合は純利益と町への納入額が同程度となるようにとあるがどうなっているか。

**町長** 平成20年度の売り上げは業務報告書では5億8,795万円となっている。協定書に基づき協議の申し入れを行ったが、協議に応じてもらえず納入金の受入れはできていない。



運営が農協に変わった物産館

## 九重町でも事業仕分けを

### 今で十分と考える



江藤 一 幸

**江藤** サービスを受ける町民の事業評価はない。今年話題になった事業仕分け、11県32市町村で取り組んでいる。決算審査に重きを置いて来たが、それ以上に事業仕分けの手法で、議会や町民の意見を組み入れた、事業予算計画作成が今からは求められる。調査研究を

**町長** 監査委員による、月例監査、年度監査、議会の監査あるいは一般質問、それを参考に予算編成している。

研究はするが、現状で十分だと考えている。

### 大吊橋の諸問題

説明が不足していた

**江藤** マニユアルの問題点を洗い出し、お客様重視へ改善されたい。

外部要因での営業中止の補償請求は検討したか  
鳴子物産との問題、現状と解決に向けた取り組み、議会と課長会に後日中間報告をされたい。

**町長** 警備員の説明不足でお客さんが不満を持つ

た。マニユアル改善の検討は必要だと考える。色々な意見もあるが、イメージ等を考え、今は補償請求はしていない。

### 無料化継続を！ 早期発見が大事

**江藤** 乳ガン検診は無料で実施、子宮頸ガン検診は国のポイント検診で今年は無料、次年度国の措置はどうか。無い場合は町単独として存続を、合せて受検アップの対策を講じられたい。



検診を受ける町民

**町長** 早期発見早期治療は大事で、前例等調べ、健康づくりの総体として検討したい。

受診率を上げるには、町民の健康づくりに対する意識の向上が、求められる。

# わたしのひとこと

## 身近な町議会へ

飯田奥郷

時松 孝之



私の住む飯田地区からは大石議長と、前議長の安部さんが、町議に出ておられます。お二人とは、事あるごとにお会いする機会に恵まれ、お話しも何う事が出来ます。皆様方の地区ではいかがでしょうか。

可能であれば、全議員の皆様方と直接お話しが出来る様な機会を作っていたら、地区住民の率直な意見、要望を聞いてもらって地区そして町の活性化につないでもらいたいと思います。「議会だより」によって町の予算、質疑や、今後の方針など、おおまかな事はわかります。しかし、もっと詳細な内容も知りたいと思います。議員の皆様による

一般質問や、それに対する町長や執行部の答弁等々。議会を傍聴すればよい事なのですが、仕事等で、時間が取れず、なかなかいけないのが現状です。でも今後は、CATVでも放映するとの事ですから、大いに期待しているところです。議員の皆様は、町民の代弁者としてもっと多くの方に、一般質問をしていただき「小さくても輝く町」、「より住み良い町」、「日本の田舎づくり」を目指して、活発な議論を交わしていただきたいと思えます。



学校再編についての意見交換会

## 行政と住民とで

野上中央三

佐藤勇一郎



は言いませんが、せめて生活できる環境がほしいと願っています。そう言う意味からすると、地域社会の再生や発展は、町や議会に期待するしかありません。勿論、我々地域住民も努力する事は当然ですので、町の言う「協働のまちづくり」を、強力に進めてほしいと願っています。

最後になりますが、仕事が無いと言う事で、学校を卒業した子どもたちが、都市部で就職しています。親としては、九重町に戻したいと考えていますが、就職先がありません。昔は民間の力がありませんが、今は行政が力を発揮してほしいと思います。若い人たちが定住できる住みよい街を、行政と住民が一致団結する時が来たと思います。

現状の社会情勢は、日本全体がデフレスバイラルに陥り、あらゆる産業に大きな影響を与えています。私の会社は、製造業を営んでいます。諸に影響を被っています。上部の会社が、人件費の安い海外生産に拍車をかけ、国内生産は、多品種少量分しか生産できません。このままでは、国内の生産は無くなり、仕事ができない人たちが増えるのではと、不安な日々を過ごしています。

今、九重町では、大吊橋でここ数年は賑わいを見せ観光業に光は当たってきましましたが、他の産業、農業や工業、商業などは厳しさが増えています。昔の状況と



景気回復が期待される製造現場

# こんな町にしてほしい

タバコやゴミの  
投げ捨てはやめて

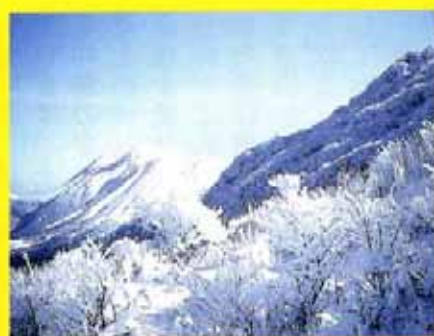
飯田小学校六年

高橋 千夏さん



今、九重町には、九重夢大吊り橋や飯田高原などの多くの観光地があり、たくさんのお客さんが訪れていますが、私は飯田に住んでいますが、最近、ゴミのポイ捨てが増えていくのを感じます。私は、九重町がゴミのポイ捨てがなくなるような町になってほしいなと思っています。

4年生のころ、クラスのみんなでゴミ拾いに行きました。その中で一番多く捨てられていたのは、タバコの吸い殻でした。私は、危ないなあと思いました。もし、そのタバコに火がついたら大変なことになると思います。その他にも、ジュースの空き缶などもたくさん捨てられています。



美しい自然がおりなす牧の戸の霧氷

とりにつけてほしいです。そして、いつまでも美しい自然がほしいの九重町であってほしいです。

## 議員リレー

随想

57

政権交代から  
新年へ



河野 範成

民主党政権が誕生して新しい年を迎えた。脱官僚の下に政治主導で事業の見直しと仕分け作業が行われた。その事は国民に解りやすく透明化は良しと言えるだろう。しかしマニフェストに掲げた優遇施策はどうかと思う。今年の税収が景気の低迷で35兆、国債44兆円とお寒い国家財政、国債頼みの資金繰りでは困る。政府は景気の浮揚と雇用問題を

最優先にして欲しい。外交、防衛、更には普天間の移設等も気掛かりである。けれども前述のように若者の就職難は深刻な悩み。元来、大和民族は勤勉を旨として来たはず。額に汗して自己責任に於いて万事に対処できる人づくり施策を新政権に期待する。

九重町は平成4年から庁舎周辺整備に始まり、大吊り橋、又、昨年は念願の地域情報整備インターネットと、数え挙げれば枚挙に暇がない事業がなされた。これらは健全財政の堅持を前提の推進だけに評価したい。中学校統合問題も紆余曲折を経て、統合校舎建設もブローグに3年後の今頃には、活きいきランド周辺に学び舎としての雄姿を現す。

## 編集後記

新年あけましておめでとうございます。昨年は農業をはじめ、全ての業種で非常に厳しい一年でした。新しい年が少しでも明るい希望に満ちた年になるよう願っています。

先日行われた12月議会の一般質問は例年通り夜間議会で行われ、9名の議員が質問した。一人でも多くの町民に傍聴をしてもらいたいとの思いで始めたこの夜間議会であるが今回は今以上に比べ少なかった様に思う。

町政や議会により多くの人が関心を持ち自分たちの町の将来に自分たちで決めるといふ住民自治の気持ちを持ってほしいと思う。この議会だよりが町民と議会をつなぐかけ橋となれるよう、議会の事を少しでも分かりやすく伝えたいと思っています。皆さんの意見をお寄せ下さい。(佐藤博美)

- ・広報委員長 竹尾 允文
- ・副委員長 藤原 三治
- ・委員 小川 克己
- ・委員 江藤 一幸
- ・委員 佐藤 博美
- ・委員 日野 康志